

別添4

平成 31（2019）年度ホッケ道北系群の 管理基準値等に関する研究機関会議提案

国立研究開発法人 水産研究・教育機構並びに、共同実施機関は、平成 31（2019）年度ホッケ道北系群の管理基準値等に関する研究機関会議において、平成 31 年度資源評価に必要な科学的パラメータについて議論し、以下の点を提案する。

管理基準値

- ・ 目標管理基準値は、SB msy で 112 千トン
- ・ 限界管理基準値は、SB0.6 msy で 34 千トン
- ・ 禁漁水準は、SB0.1 msy で 5 千トン

チューニングパラメータ β

- ・ 今後の加入が、過去に見られた平均的な豊度で発生するとした場合には $\beta=0.8$ であれば 10 年以内に目標水準まで回復する。
- ・ 近年は低豊度の加入が続いており、この状況が今後継続する可能性を考慮すると、 β は 0.7 以下の予防的な値をとることが望ましい。

その他

- ・ 再生産関係のパラメータ推定に使用するデータは、平成 30（2018）年度本系群の資源評価で推定された 1985～2017 年の加入量および親魚量を用いた。